



財団の原点事業

子どもの安心・安全を守る活動

子どもの安心・安全を守る活動は、
設立当初から自主事業の核として
「防災」「防犯」「ネット」をテーマに、
教育プログラムの開発や地域で安全

活動する方々のサポートに取り組ん
できました。

活動方針とオリジナル開発した支援
プログラムの1つをご紹介します。



「子どもの安心・安全を守る活動」とは

子どもたちが安心して学習に取り組める環境を実現するには、「子ども自身が自分を守るための力を育む」とともに、「子どもを見守りながら育てられる地域の環境づくり」

が必要と考えています。それらを活動の2本の柱とし、各テーマの専門家のご協力をいただきながら取り組みを進めています。

子どもが自らを守る力UP

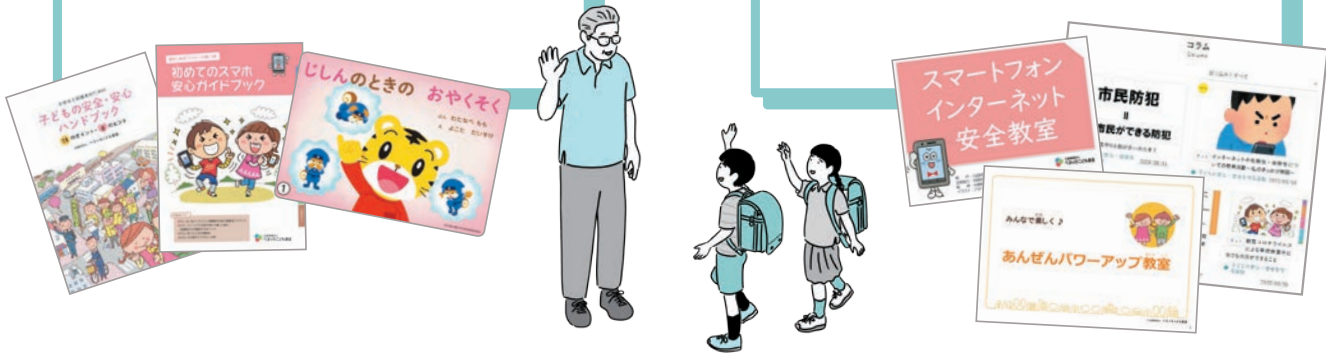
地域の見守り力UP

支援プログラムの特徴

- ・幼児から小学生を対象
- ・専門家監修のベネッセこども基金オリジナルコンテンツ
- ・イラストやQA形式で、「怖くなく」「楽しく」学べる
- ・保護者ページも充実。学校で習ったことを家庭内でも見直すことで、親子で一緒に学び合える。

指導者向けコンテンツの特徴

- ・支援プログラムの冊子と連携した内容の講師用プログラムにより、誰でも簡単に、すぐに講演会が実施できる
- ・コンテンツをご利用いただいた学校の活用事例をサイトで紹介
- ・「防犯」「ネット」の専門家コラムもサイトに掲載



Free

支援プログラムコンテンツは、無償でご提供しています

ベネッセこども基金オリジナルの支援プログラムは、子どもの安全を守る活動（非営利）にご活用いただく場合、すべてのコンテンツを無償で提供いたします。

※送料はご負担いただきます。また、すべてのコンテンツが「ウェブベルマーク」の対象です。

公益財団法人ベネッセこども基金 安心・安全窓口

TEL. 04-7137-2570

月～金 10:00～17:00 *祝日・夏季休暇・年末年始を除く



お申し込み方法の詳細は、
ベネッセこども基金サイトをご確認ください。
<https://blog.benesse.ne.jp/kodomokikin/support/useful/>

文字コミュニケーションの難しさを体験して学ぼう ネットかいてきコミュニケーション教室

安全インストラクターの武田信彦さん、演劇のプロたちとともに、小学校高学年向けのワークショップを開発しました。ネットやスマホでコミュニケーションをしたことがない子どもでも理解でき、トラブルを未然に防げるように、体験や実感にこだわりました。

第1部 コミュニケーションゲーム

文字を使わず コミュニケーション

STEP

1

ねらい 伝えるコツと楽しさを体験

同じ血液型はだれ？ 声を出して見つけよう

仲間を見つけるために子どもたちは自分の血液型を大きな声で伝えます。しかし、なかなかグループができません。次第に、手で○の形を作ったりと、ジェスチャーを



交えながら伝えることでやっと集まることができました。コミュニケーションは言葉だけではないことを体験できます。

STEP

2

ねらい 言葉以外の
コミュニケーション体験

同じ誕生月はだれ？ 声を出さずに見つけよう

言葉を使わず体の動きだけで「同じ誕生月」の仲間を見つけます。自分の誕生月を的確に伝えるためにはどのように表現すればいいのか考えます。



また、仲間を見つけるためにまわりの動きや相手の表現や相槌などを読み取ることが重要です。

STEP

3

ねらい 人によって感じ方が
異なることを体験

同じような 気持ちの人はだれ？

「この表情は、どんな気持ちかな？」“驚いている”“悲しい”“困っている”など、自分が感じた気持ちを共有します。自分と友だちとの感じ方の違いを知り、自分が



当然だと思うことでも、人によっては感じ方が異なることを学びます。



ワークショップのこだわり

- 声や体などを使った参加体験型で楽しく学べる!
- 「文字なし」「文字のみ」のコミュニケーションの違いを体感!
- プロによる迫力あるトラブル事例で怖さをリアルに体験!

第2部 演劇を見て考えてみよう

文字だけのコミュニケーション

ねらい

SNSのやりとりで起きる誤解を実感

SNSを使った友だち同士の会話を演劇で見てみよう

SNSを使ったコミュニケーションはとても便利ですが、相手の表情が見えないと、誤解が生まれやすいことを実感します。「いいよ」のひと言も、プラスにもマイナスにも感じるができます。また、勝手に想像することで、さらに状況が悪化することもあります。



公園に遊びに行こうと約束しているSNS上の一コマ

今から公園に遊びに行かない?

いいよ

なおちゃんも誘う?

なおちゃんはムリ(*_*)



なおちゃんとケンカでもしたのかな?

なおちゃん、今日は習い事の日だって言ってたな



Voice

参加した子どもたちの声

自分もスマホも持っているけれど、メッセージを送るときに、結構間違えてしまうことが多かったの、気を付けたいと思いました (5年生女子)

顔文字を見て気持ちをあてるゲームをやってみて、プラスの気持ちとマイナスの気持ちに分かれたから、人それぞれ個性があるんだなと思いました (5年生男子)

先生の声

今日勉強したことを必ず活かしてほしいと思います。絶対に経験する時が来ると思うので、相手のことを考えて言葉を選ぶことを大切にしてほしいです。(5年生担任)

子どもたちの「想像力」を育むために

自分を守る力とは、コミュニケーション力の延長にあるものだと考えています。このプログラムの目的は、声や体を使ったコミュニケーション力の基礎の確認です。伝えること・受け止めることで生じる誤解やトラブルは、想像力をフルに発揮して解消したいものです。

自分の気持ちを伝えるためには、相手の気持ちを想像して丁寧に伝えることが求められますし、メッセージや情報を受け取った際にも正確に解釈するためには想像力を使いますね。頭で考えるよりも、声や体を使い元気に楽しく学んで欲しいです。



企画協力・講師
うさぎママの
パトロール教室主宰
安全インストラクター
武田信彦さん

犯罪防止NPOでの活動を経て、2006年より安全インストラクターとして活動を開始。「市民防犯」のバイオニアとして全国で講演やセミナーなど多数実施中。



ベネッセこども基金サイトにて
月刊「安全インストラクター武田信彦による防犯コラム」連載中!
<https://blog.benesse.ne.jp/kodomokikin/column/>